

# 1. 平成 30 年度にぎわい交流館運営実績について

## (1) 会議室等運営実績について

平成 30 年度における会議室の利用人数は 30,084 人、利用件数は 2,246 件で、前年度に比べて微減でした。利用率（1 件以上の利用があった日の割合）は 98.6 %でした。

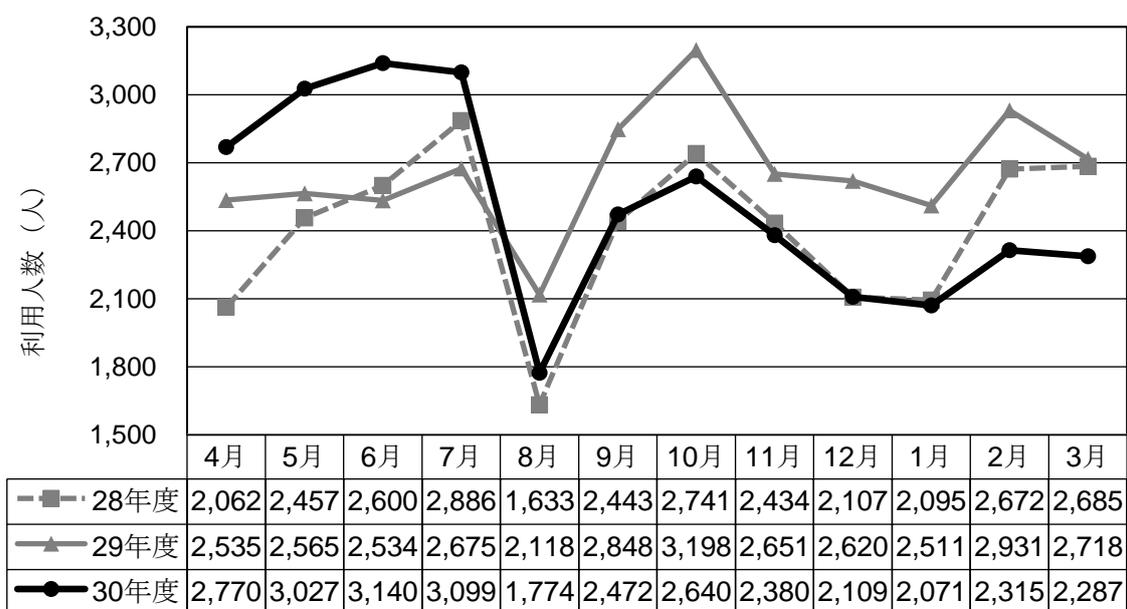
8 月以降で減少したこと、和室の夜間利用が減少したことが挙げられます。定期的な利用がなくなった団体があったことなどが要因として考えられます。会議室を利用した登録団体は 159 団体で微増、1 件あたりの利用人数は 13.4 人（昼間 13.0 人、夜間 14.6 人）で微減でした。

印刷機の利用件数は 608 件で、前年度 656 件に比べて 7.3 %の減少でした。

会議室利用状況の比較

		会議室 ABC		会議室 D		和室		合計		
		昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼夜計
利用人数	H29 年度	11,044	5,237	5,499	2,287	5,184	2,653	21,727	10,177	31,904
	H30 年度	11,655	4,551	5,593	1,978	4,987	1,320	22,235	7,849	30,084
	前年比	105.5%	86.9%	101.7%	86.5%	96.2%	49.8%	102.3%	77.1%	94.3%
利用件数	H29 年度	646	243	554	210	457	166	1,657	619	2,276
	H30 年度	631	234	590	207	488	96	1,709	537	2,246
	前年比	97.7%	96.3%	106.5%	98.6%	106.8%	57.8%	103.1%	86.8%	98.7%
利用率	H29 年度	95.20%	63.00%	91.90%	58.00%	85.40%	44.30%	98.60%	83.20%	99.40%
	H30 年度	90.48%	60.22%	94.40%	55.74%	90.76%	24.65%	97.76%	79.55%	98.60%
	前年比	-4.72%	-2.78%	2.50%	-2.26%	5.36%	-19.65%	-0.84%	-3.65%	-0.80%

会議室利用人数の推移



## (2) 市民サロン運営実績について

ワンデイシェフによる**ランチ提供食数**は 12,915 食で、前年に比べて 0.2 %増加しました。また 1 日当たりの平均は 44.2 食でした。

前年度と同じく 9 団体が活動し、利用促進の取り組みとして 8 月に「木祖村ランチフェア」、11 月に「あったかだんらん鍋フェア」（環境課の事業への協力）を開催しました。

**マーケット**は本年度中に 4 団体が加わり、10 団体が利用しました。

**ランチコンサート**の開催回数は 102 回（月～金曜 60 回、土日 42 回）で、前年度に比べて 17.1 %減少しました。出演者は 36 組でした。

**ギャラリー**の開催回数は 30 回で、前年度に比べて 11.1 %の増加でした。このうち登録団体による展示が 7 回、市民協働課による展示が 3 回でした。

	ワンデイシェフ				ランチコンサート		ギャラリー	
	食数		1 日平均		30 年度	29 年度	30 年度	29 年度
	30 年度	29 年度	30 年度	29 年度				
4 月	1,115	1,182	42.9	47.3	10	10	3	1
5 月	1,107	1,134	44.3	45.4	6	9	3	3
6 月	1,267	1,245	46.9	46.1	9	11	3	2
7 月	1,220	1,008	45.2	42.0	10	8	3	2
8 月	860	1,069	43.0	44.5	8	9	3	2
9 月	905	1,150	39.3	46.0	10	10	4	3
10 月	1,117	1,189	41.4	47.6	9	13	4	2
11 月	1,199	1,035	48.0	43.1	6	12	2	3
12 月	892	834	44.6	43.9	9	9	2	2
1 月	1,005	884	45.7	42.1	8	11	0	2
2 月	1,063	1,037	44.3	43.2	7	10	3	2
3 月	1,165	1,121	44.8	41.5	10	11	0	3
合計	12,915	12,888	44.2	44.4	102	123	30	27

### (3) 登録団体数について

日進市市民活動団体登録の数は平成 31 年 3 月末時点で 299 団体であり、前年度末に比べて 28 件増加しました。平成 31 年 4 月からの会議室利用予約ルールの変更にもない、3 月の新規登録（12 件）が特に多くなりました。

新規登録団体の主たる活動分野は「学術・文化・芸術・スポーツ」（14 団体）、次いで「子ども健全育成」（8 団体）が多くありました。

	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成 27 年度				261
平成 28 年度	44	4	+40	301
平成 29 年度	35	65	-30	271
平成 30 年度	39	11	+28	299

### (4) 相談件数について

本年度に対応した相談件数は 222 件でした。前年同期（301 件）と比べて 26 %減少しました。相談者の内訳は「市民」が 35 %を占め、「登録団体」よりも多くなりました。

相談内容の内訳は「団体について知りたい」（連絡をとりたい、ウェブで見かけたので詳しく知りたいなど）が最多でした。次いで「施設利用・団体登録したい」が多いですが、活動状況を聞き取ったうえで、他施設の利用を勧めることもあります。

相談者			相談内容		
市民	78	35.1%	団体について知りたい	40	18.0%
登録団体	62	27.9%	施設利用・団体登録したい	39	17.6%
未登録の団体	34	15.3%	講座や団体を探している	34	15.3%
行政・学校等	28	12.6%	広報・集客について	20	9.0%
その他	20	9.0%	その他	89	40.1%

## (5)主な事業の実施報告

### 【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	木祖村ランチフェア・ 産直フェア	平成 30 年 8 月 12 日 (日) ～31 日 (金)	参加団体 9 団体 提供食数 418 食
	ワンデイシェフの利用促進、友好自治体 木祖村との交流のため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供した。木祖村観光協会による産直フェア (8 月 23 日)、加工食品の受託販売、ギャラリーでのポスター等展示も行った。当初計画通り開催した。		
2	にしん市民まつり (にぎわい交流館ブース)	平成 30 年 11 月 18 日 (日)	出展団体 19 団体 来場者 のべ 1,800 人
	にしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会とした。当初計画通り開催。		
3	広報プチ講座& コワーキング (団体向け講座)	平成 30 年 11 月 27 日 (火)	参加者 4 人
		12 月 12 日 (水)	4 人
		12 月 21 日 (金)	5 人
		平成 31 年 1 月 18 日 (金)	7 人
		1 月 30 日 (水)	5 人
市民活動団体が広報スキルを高めるため、30 分程度の講座と、コワーキング (各自が作業し、質問したりできる場) を組み合わせて実施した。講師はにぎわい交流館スタッフ。当初計画通り開催。			
4	地域とつながる交流会 「縁 JOIN」(団体交流会)	平成 31 年 1 月 20 日 (日)	参加者 34 人
	テーマ型団体と地縁型団体の交流を図る目的で、場りスタ Next との共催により、「NPO 出張講座」カタログ掲載講座のデモ実施を取り入れた交流会を実施した。当初計画通り開催。		
5	志摩市フェア	平成 31 年 2 月 21 日 (木) ～28 日 (木)	
	友好自治体 志摩市との交流を図るため、またにぎわい交流館の利用促進のため、志摩市観光協会による産直フェア (21 日のみ)、観光協会から委託を受けての物品販売、市民協働課によるギャラリー展示を行った。当初計画になかったが、可能になったため実施した。		
6	出会おう！協働！講座	平成 31 年 3 月 17 日 (日)	参加者 12 人 ゲスト 6 人 (3 組)
	NPO と行政の協働推進のきっかけづくりとして、互いの課題や地域課題について対話する場。「数字の力であの人を味方にした市民活動団体のための『オープンデータ』活用術」と題して、日進市企画政策課、NPO 法人ファミリーステーション Rin、Code for Nagoya の協力 (話題提供、グループワーク補助) を得て実施した。当初計画 (2 回) から回数を変更して実施。		

	事業名	日程	参加者数等
7	にぎわい NEWS 発行 (Vol. 16・17)	平成 30 年 5 月、11 月	発行部数 3,500 部 掲載団体 合計 7
	Vol. 16…劇団三文芝居 柳澤二郎さん Vol. 17…NPO 法人水晶山市民の会 市民活動に関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行した。特集としてインタビュー記事を中心に構成。当初計画通り 2 号発行した。		
8	広報につきん記事制作	平成 30 年 8 月号 平成 31 年 3 月号	掲載団体 合計 4
	8 月号…天白川で楽しみ隊、NPO 法人サポート日進 3 月号…梅森台「わ」の会、NPO 法人海賊船 市民活動・ESD に関心を持ってもらうため、市民向けの啓発記事を制作した。当初計画通り実施。		
9	チラシ配送（市民自治活動 奨励事業認定制度）	平成 30 年 10 月～	チラシ配送 21 件
	団体からの申請に基づいて奨励事業を認定し、イベント等のチラシを市内公共施設（図書館、市民会館、スポーツセンター、福祉会館 6 館）に配送し、配架してもらった。月 2 回実施、1 回につき 3 件以内の認定とした。実現に向け調査等を進める計画だったが、前進した。		
10	専門家への相談コーディネート	平成 31 年 3 月～	
	専門的な相談に対応できる態勢を整え、団体の支援を行うとともに、施設職員の技量を向上する。案内チラシを作成した。当初計画から内容を絞って実施した。		

### 【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	事業説明会・ 団体交流会	平成 30 年 5 月 12 日（土）	参加者 18 人
	指定管理者が考えるにぎわい交流館のあるべき姿や大切にしたいことなどを提示するとともに、前年度の事業実績や今年度の事業計画などを説明した。 場りスタ Next の進行による団体交流会もあわせて行った。		
2	プロアクションカフェ	平成 30 年 5 月 19 日（土） 平成 31 年 2 月 17 日（日）	参加者 11 人 参加者 11 人
	市民活動等のプロジェクトを前進させたい人と、それをサポートしたい人とが対話し、プロジェクトを一步前に進めるワークショップ。		

	事業名	日程	参加者数等
3	日進まちづくりゼミ (第4回～第6回)	平成30年6月5日(火)	参加者 20人
		8月29日(水)	参加者 15人
		12月10日(月)	参加者 17人
	第4回「市民活動から見えてくる課題の『見える化』」ワークショップ 第5回「市民のイベントから『協働』を考える」ワークショップ 第6回「家庭と地域で子どもたちを育む、『かすい』って？」 市民活動をしている人や行政職員など、地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。有志による実行委員会形式で企画運営。当初計画(4回)から回数を変更して実施。		
4	日進わかもの塾	平成30年7月28日(土) ～8月26日(日)	参加者 5人(高校生)
	高校生が地域のNPO訪問や活動参加を通して地域や課題解決について知り、意見を発信し、思いを行動に移しやすい場を提供することで、次世代のまちづくりのリーダーを育成する5日間のプログラム。訪問先はNPO法人リビングサポートあいあいの家、マシュマロドゥー「2匹のねこ」の2団体。サポーターとして大学生4人、社会人4人が参加。最終日の成果報告会には21人が参加した。当初計画通り開催。		
5	にぎわい夢まつり	平成30年9月16日(日)	出展団体 12団体 来場者 約2,000人
6	日曜・祝日の喫茶提供	通年	56日間
7	事務支援事業	通年	消耗品販売 約5件/月 データ印刷 約3件/月
8	Facebook ページ運用	通年	ページに対するいいね! 613件(年間で+187件)

#### その他特記事項

- ・わいわいフェスティバル運営補助、検討会議・実行委員会【市民協働課から受託】
- ・あったかだんらん鍋フェア【環境課への協力】
- ・扶桑町住民活動支援センターの視察コーディネーター【自主事業】
- ・日進西中学校・日進北中学校・日進中学校の職場体験受け入れ
- ・にしん観光まちづくり協会
- ・日進市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会
- ・子どもの支援を考える会(にこさぼ) 等

## 2. 令和元年度にぎわい交流館運営計画について

### (1) ビジョンと長期成果

運営の指針として、平成 29 年度から掲げてきたビジョンと、その達成のためのロジックモデルを引き続き使用します。令和元年度は、市民への参加促進・啓発等の取り組みに重点を置き、新規事業を実施したいと考えます。

また、新たな指定管理期間において受託事業に加わった、わいわいフェスティバル実行委員会の事務、地縁型団体や大学・学生団体の支援・連携なども意識した運営を行います。なお、ビジョン等は令和 3 年度に見直しを行う予定です。



	長期成果の数値目標 (R2 年度)	直近の実績	所感
A	行政と NPO の協働事業件数 <sup>※1</sup> 98 件	89 件 (H29)	新たな協働を創出する環境づくりに努めたい。実態に近い件数が把握されるようになった。
B	にぎわい交流館登録団体数 300 団体 <sup>※2</sup>	299 団体 (H31 年 3 月)	市内の市民活動団体が堅調に増えつつある。
C	ボランティア・NPO 活動への 参加経験のある市民の割合 <sup>※3</sup> 20 %	13.9 % (H26) 14.4 % (H28) 14.7 % (H30)	市民への有効なアプローチを確立できていない。女性や高齢者がボランティアより賃金労働に流れている社会情勢もある。

※1 R2 年度の目標は第 5 次日進市総合計画より

※2 団体登録更新時の減少などを見込んで、目標値を見直した

※3 市民意識調査（2 年ごと実施）の結果。R2 年度の目標は第 5 次日進市総合計画より

## (2) 受託事業および自主事業

分類	事業名	受託／自主
施設管理・ 利用許可等	会議室、印刷機、団体専用事務室等の利用許可、団体登録 調理室・ワンデイシェフ、マーケット ギャラリー、ランチコンサート 施設管理（清掃、警備など） 人権・男女共同参画情報スペースの管理	受託事業
	休日の喫茶提供	自主事業
相談窓口	(1) 相談対応 専門家への相談コーディネート	受託事業
	事務支援事業（消耗品販売、データ印刷等）	自主事業
情報収集 および発信	(2) 市民活動、大学・学生団体に関するチラシ等の受付、配架 団体書庫、図書等収集・配架 にぎわい NEWS（2回）、広報にしん記事（2回） ウェブサイト、メールマガジン イベントカレンダー（月1回） チラシ配送（市民自治活動奨励事業認定制度） キャラクター「わいわい」を利用した PR	受託事業
	SNS 運用（Facebook ページ、Twitter）	自主事業
講座・ イベント等	(3) わいわいフェスティバル実行委員会事務局 (4) NPO 読書会（団体向け講座） (5) ボランティア体験講座 友好自治体フェア（ランチフェア・産直フェア等） にしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	受託事業
	(6) 日進まちづくりゼミ にぎわい夢まつり (7) 市民サロンの夜間利用 (8) 事業説明会	自主事業
会議等への参 加、関係機関 との連携	にしん観光まちづくり協会理事会 日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会） 子どもの支援を考える会（社会福祉協議会） 日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）、日進市社会 福祉協議会 CSW、市民協働課地域支援係、大学のボランティ アセンター等との定期または不定期の情報交換	受託事業

※番号のある事業は、次項に説明があります。

	事業名	実施回数等	受託／自主	新規・継続・見直し
(1)	専門家への相談コーディネート	通年（申込に応じて随時）	受託事業	継続
	団体経営や会計・労務・ファンドレイジングなどの専門的な相談について、専門家への相談を仲介する。チラシ等で周知する。			
(2)	にぎわい NEWS 広報にっしん記事	にぎわい NEWS 2回 広報にっしん記事 2回	受託事業	継続
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの紙面を制作する。子育て世代や定年退職世代を主なターゲットとする。			
(3)	わいわいフェスティバル 実行委員会事務局	通年（7月開催）	受託事業	新規
	市民主体のイベント運営のための事務を行う。会議の補助、出展団体募集の受付、パンフレット作成、市との連絡調整など。市民活動団体同士や、大学生や地縁型の団体との交流・連携などを図る。また、市民へのSDGsや市民活動の啓発を行う。			
(4)	NPO 読書会（団体向け講座）	3回程度	受託事業	新規
	NPO・市民活動に関する図書や資料を読んで、意見交換する。知識を得るだけでなく、参加者間の交流や共通認識の形成もねらう。			
(5)	ボランティア体験講座	1回程度	受託事業	新規
	市民活動団体と連携し、市民が気軽にボランティア体験できる機会とする。事前オリエンテーションや事後の振り返り研修も行う。大学生、子育て世代、定年退職世代それぞれをターゲットとした受け入れ団体の用意と広報活動を行う。日進市社協との連携も検討。			
(6)	日進まちづくりゼミ	3回程度	自主事業	継続
	地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。有志による実行委員会でテーマを検討する。			
(7)	市民サロンの夜間活用	提案に応じて随時	自主事業	新規
	昼間に来館できない市民（勤め人、学生など）を対象とした、交流会・勉強会などの企画提案を募り、会場提供や広報協力を行う。			
(8)	事業説明会	1回（6月開催）	自主事業	継続
	にぎわい交流館の運営方針や事業計画について説明し、参加者と意見交換する。参加者同士の交流や、市民が運営に参画することにつなげる。			